

## 平成30年度2学期始業式・校長式辞

みなさん、おはようございます。夏休み中、大きな事件や事故がなく、今日こうして元気な皆さんと共に2学期を迎えることができたことを大変嬉しく思います。

夏休みの初めには、1年生から3年生まで学力の向上と定着のための夏季講習がありました。特に3年生の多くは、三者面談などを通して、自分の進路目標がより具体的となり、学校での講習や家庭での学習、進路への準備について暑さにも負けずに意欲的に取り組んでくれたものと思います。また、運動部の大会や情報処理の大会、吹奏楽の大会をはじめ、全国大会・東北大会など県内外の各種大会に出場して頑張った人もいますし、多くの地域貢献活動・ボランティア活動にも参加してくれた人もいます。部活動では、ほとんどの部が1・2年生中心の活動となり、運動部は、新人戦など目指す大会に向けて、文化部は、県高校総合文化祭などに向けて、普段の活動に加えて、強化練習や合宿遠征などを行い、しっかり力を蓄えました。この夏休みに実践したそれぞれの活動や取り組みが、皆さんにとって大きな力となり、成果となることを心から期待します。

さて、今日は、かつてプロサッカーで活躍した、中田英寿選手の話をしたしたいと思います。ヒデの愛称でワールドカップに3度も出場した伝説の選手です。出身高校は山梨県の韮崎高校です。私ごとですが、10年ほど前に全国の研修会で、韮崎高校の先生と数日間同じ部屋で過ごしたことがあり、中田選手の高校時代の話聞く機会がありました。多彩な才能の持ち主ですので、インターネットにも載っている内容もあります。詳しく知りたい人は、あとで検索してみてください。

まず彼は、サッカーだけではなく、学業成績も常にトップクラスだったということです。3年の進路を決める面談時のこと。担任の先生は、客観的に評価できる模擬試験の結果から、「東大進学も夢でない」と強く勧めたそうです。しかし、中田選手は、「大学はいつでも入れる、サッカーできるのは今だけだ」と答えたそうで、結局、大学には進学をせずにJリーグ入りを決め、ベルマーレ平塚（現、湘南ベルマーレ）に入団しました。そして、プロ選手最初のシーズンは、ルーキーながら全28試合中26試合に出場し、2年後には日本代表の司令塔の座まで上り詰める選手となります。ここまではサッカーのスーパースターで伝説の選手ですから、不思議な話ではないと思います。

今日、私が話したいのは、彼はサッカー以外に、次のステージを見据えて高校時代から多くのことに挑戦したことです。その中から2つほど紹介したいと思います。

一つは、語学です。既に英会話はマスターしており、イタリア語にも挑戦していたことです。彼は、プロサッカー選手になると決めた時から、ヨーロッパでのサッカーを視野に入れていました。そして、3年間ベルマーレ平塚でプレーした後に、実際イタリア

のペルージャというチームに移籍しています。そして、イタリアへ渡って1か月後には通訳なしで会話できるようになっていたということです。生活習慣や文化が違う外国に移り、会話ができるのとできないのでは大きな違いがあります。当然、サッカーのプレーにも好影響を与えたと思います。その後、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ロシア語にも挑戦し、会話ができるようになったということです。(引退後には、優れた語学力を生かして、しばらく海外で放浪の旅をして充電していました。)

もう一つは簿記に挑戦したとのことでした。

彼は、「大学はいつでも入れる、サッカーできるのは今だけだ」と担任に言い切ってプロサッカーの道に進んだわけですが、「サッカーしか知らない人間にはなりたくない」と、ベルマーレ平塚への入団当初から、将来は会計士になることを公言し、試合のロッカールームに参考書を持ち込んで勉強し、日商簿記1級を取得したそうです。

先週、情報処理科の島津先生に、「日商簿記1級は、独学で勉強して取得できるものなの」と聞いたところ、独学での挑戦は相当難しいというより不可能に近いとのことでした。中田選手は、「サッカーができるのは今だけだ」、「サッカーしか知らない人間にはなりたくない」、「いつまでもサッカーはできない」ということで、高校在学中から引退後の人生設計やビジョンを持って挑戦したことになります。今は、お菓子会社の役員や日本酒製造会社の役員など、実業家として活躍しています。皆さんは中田選手のような生き方をどう思いますか。私は、「意志の強さと優れた時間管理能力の持ち主」と思います。

さて、来週末は、本校最大の行事、「麗明祭」があります。これまで準備を進めてくれた実行委員会の皆さんをはじめ、文化部の発表やクラスの企画など、それぞれの立場で「麗明祭」の成功に向けて力を合わせて準備をお願いします。

そして、麗明祭が終わると、3年生は、進路希望達成に向けて、いよいよ待ったなしです。すでに就職希望者は、面接の準備をしていることと思いますし、進学希望者にとっても大事な追い込みの時期になります。限られた時間を大切にして、着実に自分自身の進路に向けて歩みを進めてください。

そして、2年生へ、高校生活の折り返し地点です。あなた方がこれからの本校の中心(的存在)となります。期待の大きさに対して一部の人だけでなく、学年全員で応えてもらいたいと思います。1年生は、入学して9月で半年になります。高校生として本物のたくましさを身に付けてください。外見ではなく、内面で勝負できる人物へと成長することを願っています。

この2学期が皆さんにとって「忙しくも、充実した2学期」「多くの実りある2学期」となることを期待して、始業式の式辞とします。